

# 東海第2原発の再稼働中止・廃炉求める請願・陳情が採択



▶集会に参加する中庭議員、田中議員、江尻議員（左から）

7月16日「さようなら原発10万人集会」に全国から17万人以上が集まり、日本共産党水戸市議団も参加。「原発ゼロ、東海第2原発の再稼働中止、廃炉」を訴えました。

## 東海第2原発の廃炉署名にご協力を



中庭 次男  
☎(251)3254



江尻 かな  
☎(243)6888



田中まさき  
☎(247)3714

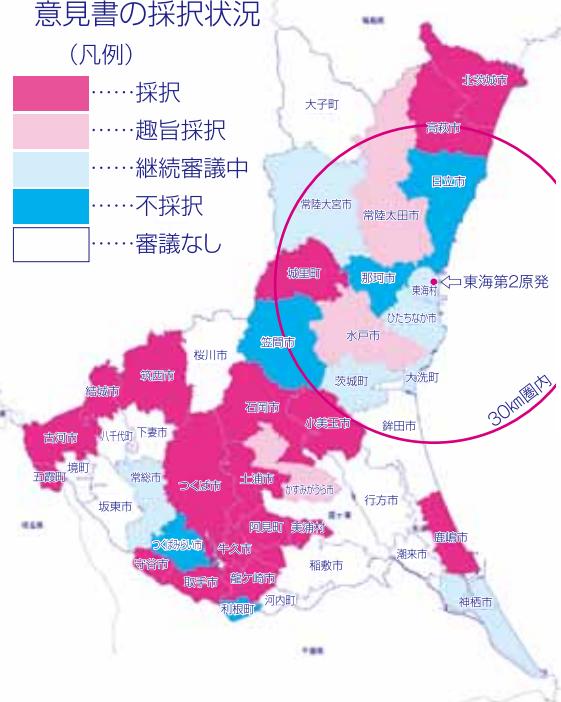
**日本共産党水戸  
市議団ニュース**

## 県内21市町村議会が可決

東海第二原発の廃炉等を求める請願・陳情、意見書の採択状況

(凡例)

- .....採択
- .....趣旨採択
- .....継続審議中
- .....不採択
- .....審議なし



江尻かな議員は代表質問で高橋市長に対し、安全を置き去りにする国決定に反対し、東海第二原発は再稼働を認めないと強く求めました。市長は「二重三重の安全対策が大前提だ」と、これまでの主張を繰り返しました。

江尻議員は、5つの請願・陳情を審議する市議会総務環境委員会でも「危険な原発はいらないとの市民の声にこたえ、水戸市議会として国や県に東海第二原発の再稼働中止と廃炉を求める意見書を提出すべき」と繰り返し主張。採決の結果、請願・陳情が趣旨採択されました。

水戸市議会の6月定例会が開かれ、東海第二原発の再稼働を認めないことや廃炉を求める市民、団体からの5つの請願・陳情を、いずれも全会一致で趣旨採択しました。陳情に添えられた合計一万七千筆を超える署名と、市民の願いが議会を動かした成果です。

政府が福井県の大飯原発を再稼働させるなか、東海第二原発も再稼働が強行されかねないと懸念が高まっています。

## 安全置き去りの 国に反対を

江尻かな議員は代表質問で高橋市長に対し、安全を置き去りにする国決定に反対し、東海第二原発は再稼働を認めないと強く求めました。市長は「二重三重の安全対策が大前提だ」と、これまでの主張を繰り返しました。

江尻議員は、5つの請願・陳情を審議する市議会総務環境委員会でも「危険な原発はいらないとの市民の声にこたえ、水戸市議会として国や県に東海第二原発の再稼働中止と廃炉を求める意見書を提出すべき」と繰り返し主張。採決の結果、請願・陳情が趣旨採択されました。

## 一七、〇〇〇名超の署名が議会動かす

請願・陳情を提出した皆さんからご意見、ご感想をいただきました

「骨抜き、  
意見書を可決



請願・陳情の趣旨採択を受け市議会は、国宛ての「安全で持続可能なエネルギー政策の確立を求める意見書」を賛成多数で可決しましたが、日本共産党水戸市議団は反対。意見書は東海第二原発について「安易な再稼働を行うことなく、より明確で客観的な安全基準を策定した上で安全性の確認を行うこと」とし、廃炉や再稼働中止は求めず、請願・陳情の趣旨が骨抜きにされています。

日本原電・東海第二発電所が再稼働しないことを求める意見書採択についての陳情署名へのご協力に感謝申し上げます。市議会の可決した意見書は、求めていたよりも表記が弱く残念でした。今後も東海第二原発現が弱く残念でした。今後も東海第二原発が再稼働しないよう求めていきます。

日本共産党市議団3名は独自に「東海第二原発の廃炉は行わず、廃炉を実現すること」を明記した意見書を議長に提出しましたが、他党は市議会申し合わせを理由に議会への提出を認めませんでした。地方自治法112条では3名以上の議員で自治法に反します。

これからも東海第二原発再稼働ストップの運動を広げて頑張ります。

## 日本共産党水戸市議団 再稼働中止の 独自の意見書

東海第二原発の廃炉を求める請願  
茨城県平和委員会 伊達 鄭右衛門

廃炉を求めた私ども市民団体の真意がまざられてしまい残念だ。市議会は市民の声を真摯に受け止め、真意をくんだ意見書を再度採択されるよう望む。

東海第二原発の廃炉を求める意見書採択  
新日本婦人の会水戸支部 大川レイ子

東海第二原発の廃炉を求める意見書採択  
茨城県母親連絡会 長田 满江

「廃炉」の文言が盛り込まれていない意見書付の趣旨採択では到底納得できません。これからも署名を広げていきます。